



# 竹内街道・横大路(大道)～難波から飛鳥へ日本最古の官道～ ガイド付ウォーキングイベント

## 奈良県明日香村

コース  
マップ

飛鳥時代の歴史や文化を感じながら、竹内街道・横大路(大道)の終着点を探るコース。

### 日本遺産認定歴史の道、竹内街道・横大路(大道)とは

推古天皇21(613)年に敷設された竹内街道・横大路(大道)は、外交の玄関口である難波津から堺を経て、政治の中心だった飛鳥・小粟田宮(おはりだのみや)を結ぶが国最古の官道。総延長約40キロ、幅20メートル以上だったといわれる。難波宮の朱雀大路から南下する難波大道、堺と長尾神社(奈良県葛城市)東西に結ぶ竹内街道、長尾神社から小西橋(桜井市)を結ぶ横大路の三つの道からなる。古代以来、大陸との外交や聖德太子信仰、物流の拠点を結ぶ経済など、時代とともに多様な表情を刻んできている。平成29(2017)年に日本遺産に認定された。

主催:竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会 共催:産経新聞社  
(大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村)

ガイド:一般社団法人飛鳥観光協会ボランティアガイド

令和元年度文化庁文化芸術振興費補助金  
(地域文化財総合活用推進事業)



日本遺産構成文化財



⑤飛鳥寺・蘇我入鹿の首塚

蘇我馬子の發願によって建てられた日本最初の本格的寺院と言われている。

現在は江戸時代に建てられた安居院が建つておらず、本尊には有名な飛鳥大仏が祀られている。飛鳥大仏は銅造釈迦如来坐像(重要文化財)で推古天皇が鞍作止利に命じて609年に完成したものである。本堂内で間近に拝観できる。

飛鳥寺の西には蘇我入鹿の首塚という五輪塔がおかっている。乙己の変で中大兄皇子らに暗殺された入鹿の首が付近をさ迷ったといわれており、その首を供養するために立てられたものとの伝説がある。

スタート 国営飛鳥歴史公園甘樺丘地区  
豊浦休憩所



ゴール 飛鳥駅



⑥飛鳥京跡苑池

飛鳥宮の庭園にともなう苑池として最古・最大のものである。宮中の宴や外国使節の接待、服属儀礼などがこの苑池のまわりで行われていたものとされている。『日本書紀』天武天皇14年(685)の「白錦後苑」にあたる説もある。最近の発掘調査では天皇祭祀の場と思われる遺構が発掘されている。



⑦橘寺

厩戸皇子(聖徳太子)生誕の地とされ、太子建立の七ヶ寺の一つとされている。現在の建物は江戸時代以降のもので本尊には聖徳太子像が祀られている。

境内には謎の石造物の二面石や三光石などがある。

日本遺産構成文化財  
①向原寺  
(豊浦宮・豊浦寺跡)



向原寺  
(豊浦宮・豊浦寺跡)

豊浦寺は明日香村豊浦、現向原寺一帯に所在した尼寺跡。今から約1400年前の欽明天皇の時代に百濟の聖明王から我が國に初めて仏像、仏典がもたらされた。蘇我稻目がその仏像をあざりき向原の自宅を淨めて寺として安置したのがはじまり。その後、蘇我氏により豊浦寺に建て替えられたという。

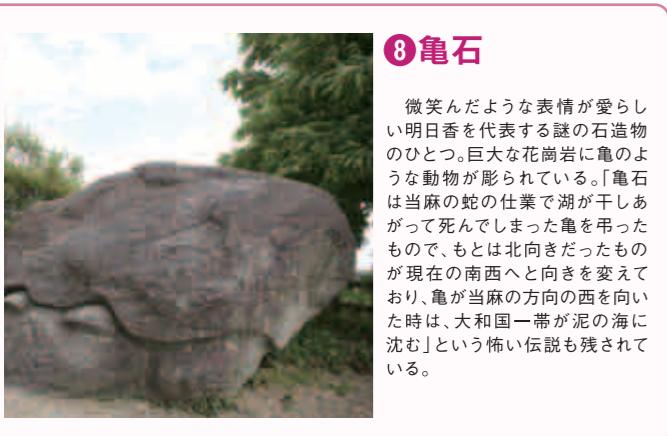
またこの付近は日本最初の女帝である推古天皇の豊浦の宮がおかれていた。現在の向原寺境内で当時の遺構が展示されている。



②甘樺丘

皇極天皇3年(644)に蘇我蝦夷・入鹿父子が権勢を示すために邸宅を構えたともいわれている。現在は、国営飛鳥歴史公園として整備されている。展望台(標高148m)からは飛鳥京・藤原京・平城京へと宮都が発展していく様子が遠望できる。

大和三山や、西の方には二上山、葛城山や金剛山がそびえ難波へと続く風景が見渡せる。



⑧亀石

微笑んだような表情が愛らしい明日香を代表する謎の石造物のひとつ。巨大な花崗岩に亀のような動物が彫られている。「亀石」は当麻の蛇の仕業で湖が干しあがって死んでしまった亀を弔ったもので、もとは北向きだったものが現在の南西へと向きを変えており、亀が当麻の方向の西を向いた時は、大和国一帯が泥の海に沈む」という怖い伝説も残されている。



⑨野口王墓古墳  
(天武・持統天皇檜隈大内陵)

墳丘裾部一辺15m前後、対辺間距離約37m、高さ7.7mと推定される八角形古墳。

文暦2年(1235年)盗掘により実施検分し記録された「阿不幾乃山陵記」の発見されたことにより、被葬者を確定できる数少ない古墳の一つである。壬申の乱(672年)で大友皇子を倒した大海人皇子(即位後に天武天皇)とその皇后である持統天皇の合葬墓。



③雷丘東方遺跡

発掘調査によって大井戸が発見され井戸の中から「小治田宮」と墨書きした土器が多数出土したことから淳仁・称徳朝の小治田宮があったといわれている。推古天皇の小粟田宮もこの地との説もあり、聖徳太子・蘇我氏とともに、冠位十二階や十七条憲法の制定、遣隋使の派遣などの重要政策を行ったといわれている。



④飛鳥水落遺跡

『日本書紀』齊明天皇6年(660)に「皇太子(中大兄皇子)が初めて漏刻を造る。民をして時を知らしむ」とある漏刻(水時計)を置いていた遺跡である。

漏刻台で打ち鳴らす鐘鼓の音は京内に響きわたり貴族や役人は宮殿や役所への出退の時刻を知った。これが日本人が時によつて管理されるはじまりである。

